

©本品を使用される前に必ずお読み下さい。

WAGNER

ワグナーハンドエアレスガンシリーズ

ミニペインター TM-15A

取扱説明書



日本ワグナー・スプレーテック株式会社


この度は、ワグナーハンドエアレス「ミニペインター TM-15A」をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。この取扱説明書には、重要な注意事項が記載されていますので、ご使用前には必ずお読み下さい。


尚、ご不明な点、ご要望等ございましたら、お気軽に最寄りの弊社営業所までご連絡をお願いします。

1. 安全使用上の注意



「ミニペインター TM-15A」を安全にお使い頂くために必ず次の注意事項をよくお読み下さい。正しい手順で取扱わないと、場合によっては重大な事故を引き起こす恐れがあります。

 **警告** この表示は使用者が重傷を負う、または死亡する可能性のある危険性についての“警告”が記されています。

 **注意** この表示は、使用者が負傷する、または機器が破損する可能性のある危険性についての“注意”が記されています。

(注) 取扱説明書内で、特に注意を促す必要のある項目には(注)と記しています。

警 告

- 本機をご使用の前に取扱説明書、ラベルをお読み下さい。
- 本機を改造しないで下さい。
- 本機をご使用の前に必ず点検して下さい。異常が見られたら直ちに修理するか、新品に交換して下さい。
- ご使用場所は、清掃・整理整頓し、常に換気を良くして下さい。
- ご使用に際しては、塗料および溶剤は製造メーカーの仕様書を読み、作業中は常に保護メガネや、手袋、作業衣および防毒マスクをして下さい。
- 吹き付けられる塗料は非常に高圧で、危険です。作業中は絶対ノズルヘッドの先端に手を近づけたり、ノズルヘッドを人に向けしないで下さい。
- 吹き付けられた液体で皮膚を傷つけた場合、直ちに医師の診断を受け、使用していた塗料、および溶剤名を報告して下さい。
- 本機を水につけたり、雨の中や湿気の多い場所で使用しないで下さい。
- ノズルヘッド、コンテナの脱着などの作業中は必ず電源コードをコンセントから抜いて下さい。

注 意

- 10秒程スイッチを押しても塗料が出てこない時は、作業を中断して下さい。異常な状態でスイッチを押し続けるとコイルを焼き切る恐れがあります。
- 連続使用時間は5分間以内として下さい。
- 電源コードは乱暴に扱わないで下さい。コードを持って運んだりコンセントから抜く時は、必ずプラグをつかんで下さい。

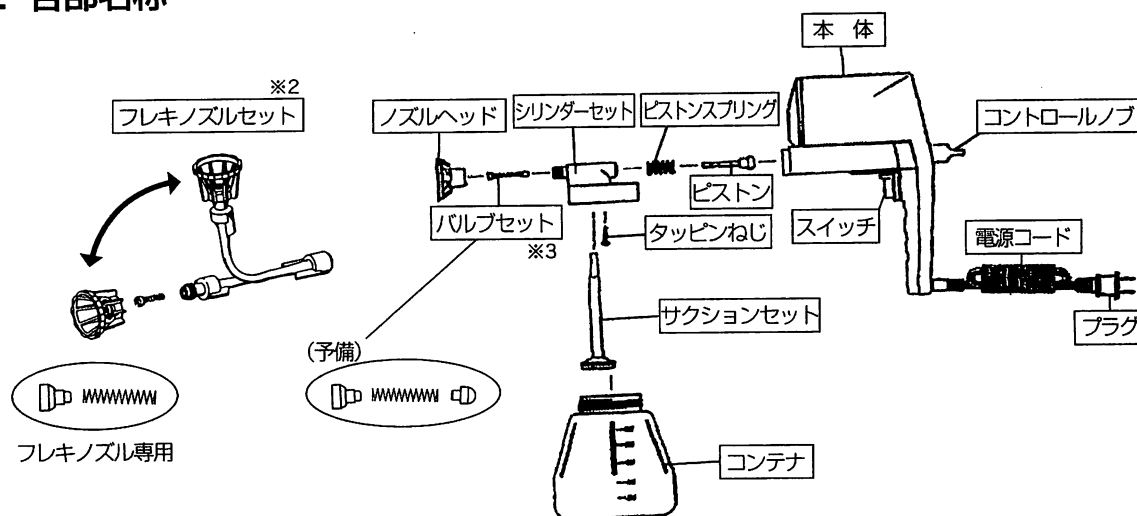
2. 製品仕様

2-1 仕様一覧および標準セット内容

定格電圧	100V・50/60Hz	本体	1
最大消費電力	75W/50Hz・65W/60Hz	フレキノズルセット(0.6×150mm) ^{※2}	1
最大吐出量	300cc/min	バルブセット(予備) ^{※3}	1
重量	1.4kg	取扱説明書	1
連続使用時間	5分間 ^{※1}		

- ※1 ●コンテナには900ccの塗料が入り、量約4枚分(6.6㎡)が塗装できます。これは一般的な水性塗料の1回塗りの目安で約3分間でコンテナが空になります。
- スイッチは5分間以内で一度切ってください。コンテナ以外で別容器、塗料缶などから直接吸い上げる時は、必ず守ってください。

2-2 各部名称



- ノズルヘッド…塗料の出口(塗料を霧にします。)
- フレキノズルセット(※2)…吹付方向が自由に換えられ、天井や床の塗装などに便利です。繰り返し折り曲げが可能です。(手で曲げて使用して下さい。)
- バルブセット(※3)…塗料の吸入・吐出弁(消耗品)定期交換及び塗料が出なくなった時、交換して下さい。
- シリンダーセット…ポンプシリンダーを内蔵、およびコンテナ取付部
- ピストンスプリング…ピストンの戻り用
- ピストン…ポンプシリンダーの中で高速で前後し、塗料の吸入、圧縮、押し出し
- タッピンねじ…本体にシリンダーセットを固定するねじ(2本)
- サクシオンセット…塗料の吸い上げ用パイプ(フィルター付)
- コンテナ…塗料容器(900cc以上入れられないで下さい。)
- 本体…ポンプ駆動装置内蔵
- スイッチ…ポンプ作動「ON」、 「OFF」
- コントロールノブ…吐出量の調整
- 電源コード…AC100V 50/60Hz 接続

3. 使用方法

⚠ 注意

- 使用する塗料・うすめ液は、製造メーカーの仕様書に基づいて作業して下さい。
- うすめ液にて試し吹きをし、性能を確認の上、塗料に変えて下さい。

- ① 塗料を用途に合わせた濃さ（粘度）にうすめ、十分攪拌して下さい。
- ② ①の塗料をろ過して下さい。（古いナイロンストッキングなどにて）
- ③ ②の塗料をコンテナに入れて下さい。
注）900cc以上入れないで下さい。
- ④ サクションセットをシリンダーセットに少し強めに差込んで下さい。
注）差込みが弱いと振動でゆるみ、空気をかみ込みます。
- ⑤ コンテナをシリンダーセットに取付けて下さい。
注）コンテナのねじ部などに付着した塗料を拭きとり、しっかりねじ込んで下さい。
- ⑥ スイッチを押しながらコントロールノブを左へ廻していくと「ブー」という音と共に塗料が出てきます。
注）●コントロールノブは、右一杯戻した「0」から徐々に左に廻し、最良の位置で止めて下さい。
●スイッチを入れてもすぐには出ません。塗料通路の空気を押し出すのに5～10秒かかります。
●5～10秒押ししても出ない時は、スイッチを切り点検して下さい。

⚠ 注意

- 標準のノズルヘッドからフレキノズルセットに変更する場合は、バルブセットの装着および取付部のネジが、シリンダーセットのネジに正しく取付けられていることを確認して下さい。

4. 吐出量の調整

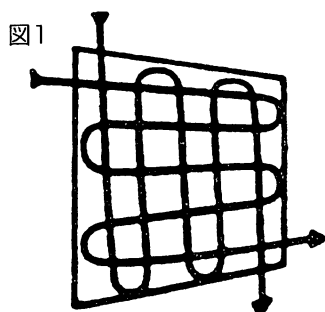
コントロールノブを左へ廻す→吐出量が増加（最良と思える位置で止めて下さい。）

コントロールノブを右へ廻す→吐出量が減少し、「0」になります。

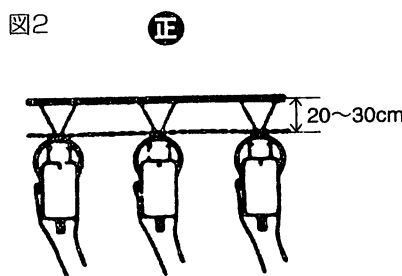
- 注）●塗料の種類、濃さ（粘度）によってコントロールノブの止める位置は変わります。左一杯廻したところが最大ではありません。本体保護の為、吐出圧力が下がります。

5. 塗装のテクニック

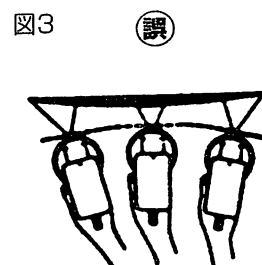
- 塗装を始める前に、被塗物の表面の汚れを洗浄して下さい。
- 塗装しない部分は、マスキング（新聞紙・テープなどで）して下さい。
注）マスキングは塗装後すぐにはがさず、少し時間を置き、半乾燥ぐらいではがして下さい。
- 本体を傾けず水平に保って下さい。天井、床などの塗装には、フレキノズルを使うと水平が保てます。
フレキノズルは中央の細い棒の部分が手で自由に繰返し曲げられます。
注）・ 本体を傾けすぎるとコンテナの塗料がこぼれたり、本体内へ逆流することがあります。
・ フレキノズルを曲げる時は、取付部を片手で支え、もう片方の手で行って下さい。
- 垂直平面を塗装する場合、図1のような「格子」パターンが最も効率的で仕上がりがきれいです。
- 本体と被塗物の距離は、図2のように20～30cmで一定に保って下さい。
注）・ 図3のような動きだと中央が厚く、端が薄くなり、塗装「ムラ」となります。
・ 一度に厚く塗らず、コーナーなど複雑なところから始め、2～3回で仕上げして下さい。



※格子状に



※被塗物に平行に



※被塗物に平行でない

6. 洗浄と使用後の手入れ

⚠ 警告

油性塗料・溶剤は、口の小さな密閉容器に吹き戻さないで下さい。容器内に爆発性のガスが発生し大変危険です。

- ① コンテナに残った塗料を塗料缶に戻して下さい。
- ② 少量のうすめ液をコンテナに入れ、シリンダーセットに取付け、揺すり、捨て吹きをして下さい。
- ③ 「7. 分解・組立て」の項（P5）に従い、コンテナ・サクシオンセット・シリンダーセット・ピストンなどの各部分をブラシなどで洗浄して下さい。
- ④ 再度コンテナにきれいなうすめ液を入れ、塗装の要領で捨て吹きして下さい。
- ⑤ 長期間使用しない場合は塗装通路を十分乾燥させ、サビ止め油を塗って保管して下さい。

注）● うすめ液（水性塗料は水、油性塗料は専用のうすめ液）

- 高温、多湿の場所などはさけて下さい。

7. 分解・組立て

▲ 注意

電源コードをコンセントから抜いてから行って下さい。

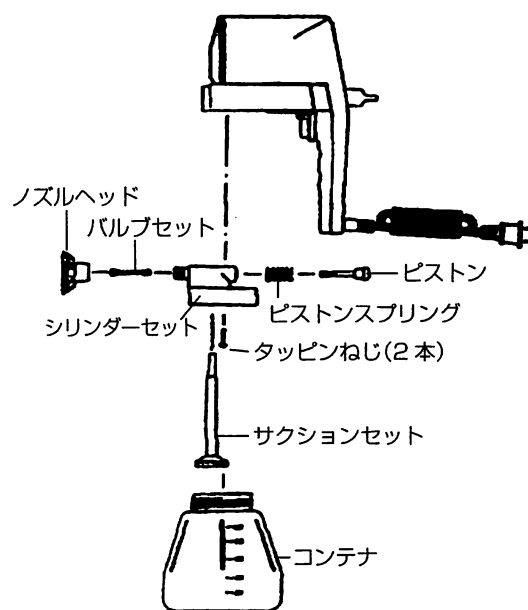
シリンダーセットの中で塗料が固まりピストンが固着した場合、「ウーン」という音が続き吹き付けできません。このような場合は次の手順で作業して下さい。

7-1 分解

- ① コンテナを外し、サクシオンセットを外して下さい。
- ② シリンダーセットを固定している2本のタッピンねじを外して下さい。
- ③ シリンダーセットを本体から外し、ピストン、ピストンスプリングを分離して下さい。

注) ●塗料で固着しているピストンを無理に外さないで下さい。うすめ液に20～30分間程浸してから外して下さい。

●保管方法によっては、シリンダーとピストンがサビ付いている場合があります。サクシオンセット取付口から見て「サビ」が見えたらうすめ液につけても外せないことがあります。販売店、修理専門店にて修理依頼して下さい。



7-2 組立て

- ① 各部品の損傷・摩耗傷等の点検をして下さい。
- ② シリンダーセット・ピストン部には、グリース又は潤滑オイルをうすく塗って下さい。
- ③ 組立ては分解の逆の手順で行って下さい。

注) ●組付け方向に注意し、無理やりに組付けしないで下さい。

●紛失部品のないようにして下さい。全ての部品が重要な役割をもっています。

- ④ うすめ液にて吹付けの確認をして下さい。
- ⑤ 長時間使用しない時は、塗料通路を十分乾燥させ、サビ止め油を塗って保管して下さい。

注) ●高温、多湿の場所などはさけて下さい。

●塗料通路の各部品は分解し、ビニール袋などに入れ密封して保管する方法もあります。(部品を紛失しないよう気をつけて下さい。)

8. 塗料について



注意

使用する塗料・溶剤の仕様書を必ず確認して下さい。

	塗料名	塗料：うすめ液		塗料名	塗料：うすめ液
鉄部・鉄骨・門	フタル酸	100：20～50	浴室の壁	水性	100：20～50
手すり	サビ止め	100：10～30	木工・建具	クリアラッカー	100：50～100
電気器具・日曜大工品	ラッカー	100：50～100	壁面・ベニア板	壁用	100：20～50
トタン屋根	トタン用	100：20～50	コンクリート・ブロック	水性	100：20～50

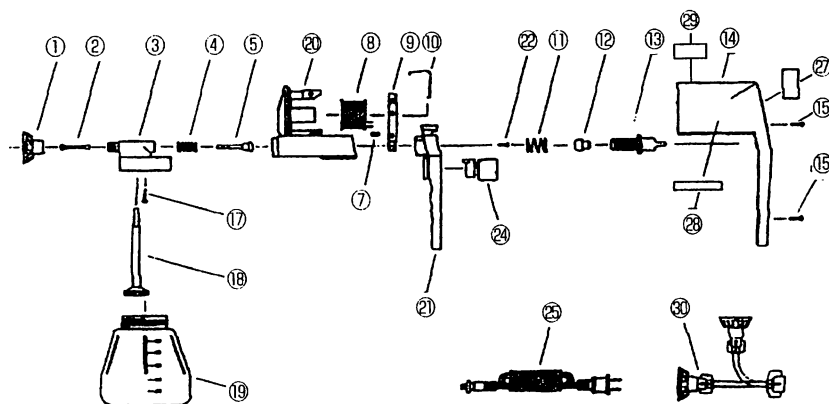
注) ●うすめ液は水性：水、油性：専用の溶剤

●上記の塗料：うすめ液の割合は、目安です。使用される塗料によって違いはあります。

9. トラブルの原因と対策

トラブル	原因	対策
本体のスイッチを入れた時、作動音はするが運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ピストンの固着 ●駆動部の故障 	<ul style="list-style-type: none"> ●シリンダーセットを外し、ピストンを洗浄する ●購入販売店へ相談
吸入しない	<ul style="list-style-type: none"> ●シリンダーセット内にバルブセットが入っていない ●バルブセットが汚れているか摩耗 ●サクシオンチューブがしっかりと吸入口に入っていない ●フィルターが汚れ（つまり）ている ●シリンダーセットの小穴（通気口）がつまっている ●塗料の粘度が高すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ●バルブセットを取り付ける ●洗浄・交換 ●サクシオンチューブをしっかり固定する ●洗浄、高粘度の場合外す ●洗浄 ●うすめる
吸入は良いが吐出しがない	<ul style="list-style-type: none"> ●ノズルのつまり ●バルブセットの小穴のつまり 	<ul style="list-style-type: none"> ●洗浄 ●洗浄・交換
本体は正常だが吐出が不規則	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテナ内の塗料をほとんど使ってしまった ●本体を傾けている ●塗料の粘度が高すぎる ●コントロールノブが正しく調整されていない ●ノズルが摩耗している ●バルブセットが摩耗している ●（フレキノズル装着時）バルブセット、ノズルセットの組込み間違い 	<ul style="list-style-type: none"> ●塗料を加える ●水平を保つ ●フレキノズルを使用する ●うすめる ●ノブ位置を調整する ●交換 ●交換 ●正しく取り付ける

10. 分解図および部品名称



POS	パーツNo.	名 称	数量	POS	パーツNo.	名 称	数量
1	2220932	ノズルヘッド 0.8mm*	1	13	2220806	コントロールノブ	1
	2220934	ノズルヘッド 0.6mm*		14	2220802	カバー	1
	2220931	ノズルヘッド 0.5mm*		15	2221515	タッピンビス	2
	2220930	ノズルヘッド 0.3mm*		17	2221517	タッピンビス (SUS)	2
2	2220940	バルブセット	1	18	2220921	サクションセット	1
3	2220800	シリンダーセット	1	19	2220925	コンテナ	1
4	2220911	ピストンスプリング	1	20	2220803	ドライブハウジングセット	1
5	2220801	ピストン	1	21	2220804	ハンドル	1
7	2220913	ダンパーパーツ	1	22	2221522	タッピンビス	2
8	2220914	コイル (50Hz)	1	24	2220922	スイッチ	1
	2220915	コイル (60Hz)	1	25	2220002	電源コード	1
9	2220916	アマチュア	1	27		機番シール	1
10	2220917	リーフスプリング	1	28		サイドシール	2
11	2220929	スプリング	1	29	2253200	注意シール	(1)
12	2220918	バッファーパーツ	1	30	2220820	フレキノズルセット(0.6×150)	1

※ノズルヘッドの吐出口の外側の数字の刻印はノズルの口径を示します。
 「8」：0.8mm標準装着。「6」：0.6mmフレキノズルセットに装着。

WAGNER 日本ワグナー・スプレーテック株式会社

本 社：〒574-0057 大阪府大東市新田西町2-35 TEL.072-874-3561 FAX.072-874-3426
 札 幌：TEL.090-8824-4320 名古屋：TEL.0562-98-8621 福 岡：TEL.092-472-5533
 FAX.0562-98-8623 FAX.092-471-8206
 仙 台：TEL.090-8822-5956 関 西：TEL.072-874-3558 鹿 児 島：TEL.099-265-3806
 FAX.072-874-3426 FAX.099-265-3627
 関 東：TEL.042-379-1161
 FAX.042-379-1166

〈お願い〉 改良のため、製品の仕様・外観は予告なく変更することがあります。予めご了承下さい。